

広中央中学校区小中一貫通信

令和4年度 No. 2
令和4年12月16日発行
発行者：広中央中学校区
(広中央中・広小・三坂地小)

広中央中学校区の学校教育目標は「学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの児童生徒の育成」とし、育成を目指す資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」「自尊心・協調する力」と設定して、足並みを揃え、研究を進めています。

家庭科 研究授業

10月18日(火)に広中央中学校、三浦教諭による技術・家庭科(家庭分野)の研究授業が行われました。授業は、広島県が推進する「学びの変革」に沿った授業展開や、「広中央中学校区の授業スタイル」などが取り入れられたもので、学習の導入部分も工夫されていたため、生徒達は引き込まれるように課題に取り組むことができていました。また、ICTを活用して思考する場面が設定されており、生徒達は、楽しみながら考えを深めたり、友達と意見を共有したりしていました。

授業後の協議会では、呉市教育委員会学校教育課中村友美主査様より指導助言をいただきました。より生徒が思考を深めることができるような問いを設定することの大切さ等について助言をいただきました。

今回の研究授業を通して学んだことを、日々の授業に活かしていきます。



美術科 乗り入れ授業

9月6日(火)に、三坂地小学校の6年生を対象に中学校の美術科からの図画工作科への乗り入れ授業が行われました。コンクールに応募する「平和ポスター」の導入の授業でした。児童は、「人に大切なことを伝えるポスター」の役割や意味を改めて考え、今年のテーマ「思いやりのあるリーダーになろう」について、「思いやりがあるってどういうことだろう?」「リーダーってどんな人かな?」と、キーワードを基にしたシンキングツールを使って思考を深めていました。

中学生に向けて、美術科の授業のイメージが膨らむ体験になりました。



保健体育科 乗り入れ授業

11月8日(火)に、広中央中学校の3年生を対象に、広小学校の栄養教諭である矢野先生の乗り入れ授業が行われました。テーマは、「これからの受験に向けての食生活の工夫を考えよう」でした。

授業では、食生活アンケートから、基礎代謝量、五大栄養素、最強の朝食などについて考える場面があり、50分の授業の中で生徒達は多くのことを学ぶことができました。

受験を前にした3年生にとって、有意義な学習となりました。

